

《平成30年 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
近世唱導文芸研究会	北林 茉莉代
研究会名 略称： 近世唱導	所 属：大正大学 非常勤講師
活 動 紹 介	
<p>【活動内容】 本研究会の活動は、大正大学図書館所蔵の近世唱導文献の調査ならびに研究を目的としている。現在は、慶安四年に刊行された『類雑集』を主な研究対象とする。 本書は巻一～巻十および目録の計十一冊からなるが、平成23年度以降、毎年一巻ずつ翻刻を進めている。今年度は、巻九の翻刻を行い、『大正大学総合佛教研究所年報』41号に掲載予定である。翻刻では、出典調査を行い、脚注に校異を示している。平成28年度より『類雑集』伝本調査に着手し、現在までに、京都大学、龍谷大学、大谷大学、叡山文庫、東洋大学哲学堂、石川県立歴史博物館(巻七のみ)の調査を行っている。この結果は、月例研究会で報告している。本研究会には、教員、副手、大学院修了者、大学院生が所属し、連携を取りつつ研究を進めている。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 『除睡鈔——翻刻と研究——』 岩田書院（大正総合佛教研究所叢書、第二十四巻） 『類雑集』翻刻〔一〕～〔八〕 『大正大学総合佛教研究所年報』 33号～40号（2011年～2018年）</p>	
<p>【平成30年度活動計画】 今年度は『類雑集』巻九「勸学門」「摂折門」「雑語門」の翻刻および出典調査を実施し、『大正大学総合佛教研究所年報』41号に掲載する予定である。 また、引き続き本学所蔵本以外の伝本調査を行い、分析と考察を進めていく。</p>	